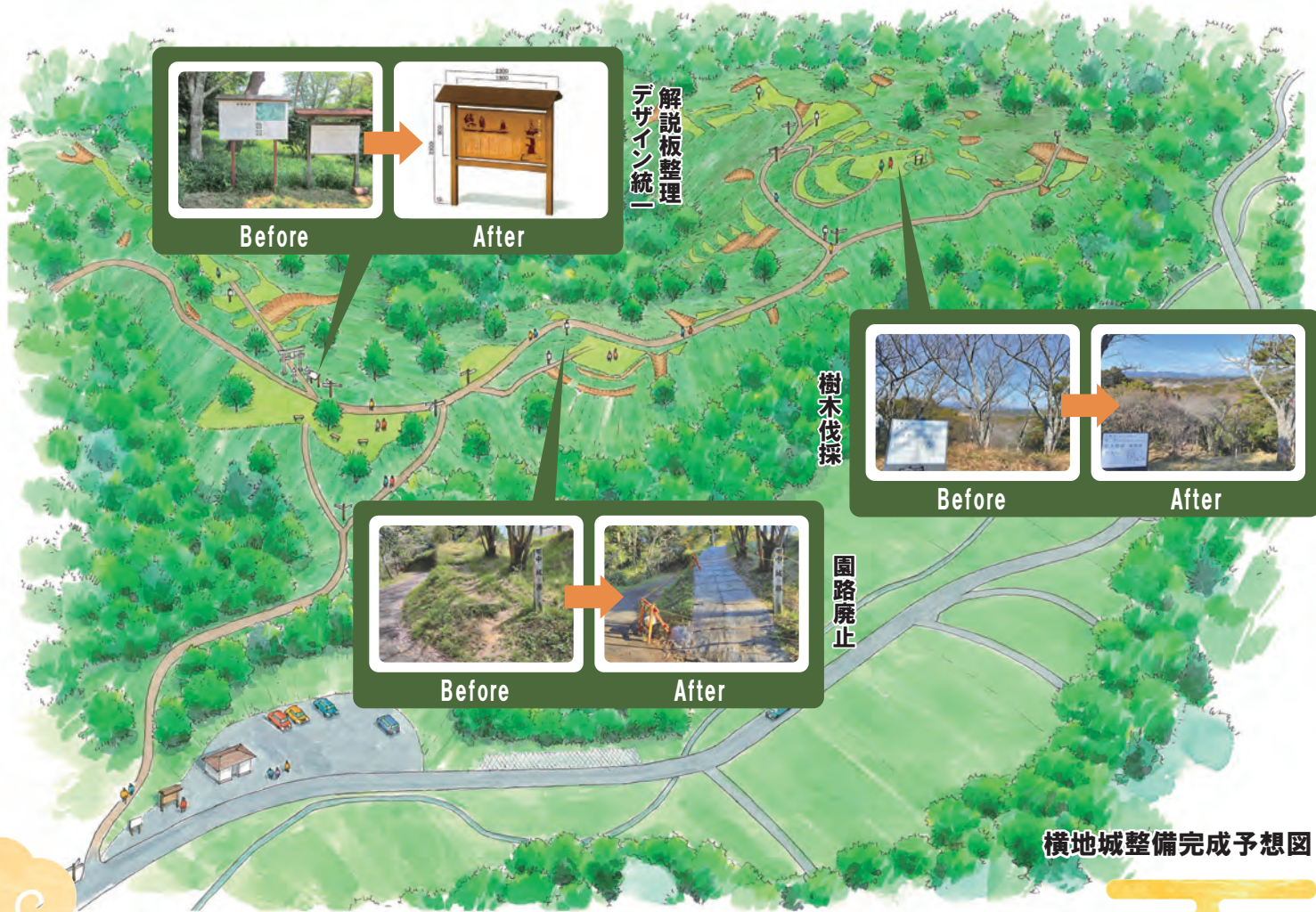




歴史を知ってから歩くと、山の起伏や土の高まり、削られた地形の一つ一つが、かつてこの地で生きた人々の営みを物語っていることに気づきます。横地城は、菊川の中世を五感で感じられる貴重な場所です。ぜひ一度、その魅力を現地で体感してみてください。



▲赤色立体地図

数値標高データに基づき、赤色を基調として、尾根を明るく、谷を暗く表現し、地表の細かな凹凸を一枚の画像で立体的に把握できる地形表現の手法

史跡の価値を伝える整備が進行中

横地氏城館跡では、史跡の価値をよりわかりやすく伝えるための整備が進められています。

昭和以降に散策用としてつくられた園路を埋め戻し、後世の改変を取り除くことで、本来の城の姿に近づける工事を行っています。あわせて、倒木の危険がある樹木の伐採や剪定も進めています。これによって東の城からの眺望が良くなり、周辺の地形や景観を感じながら見学できるようになりました。

横地城を多くの人に訪れてもらうため、見学者の安全性の確保と遺構の保存を両立させながら、史跡の価値を損なわないよう慎重に整備を進めています。

令和6年度には、城の解説板などに活用する地形図を作成するため、ドローンを用いたレーザー測量を実施。これにより得られたデータから、城跡全体の赤色立体地図も作成しています。

こうした調査成果をもとに、今後は案内表示や解説板の整備、散策ルートの設定なども進めていく予定です。

地域の絆を深める特別な場所

横地城は、歴史的な価値だけでなく、地域住民にとっても特別な場所です。

横地地区は、名字の「横地」発祥の地とされています。伝承では、今川義忠によって横地城が落城した際、横地姓の人々は各地へ逃れ、全国に広がったといわれています。こうした伝承を今に伝える場として、『全国の横地さん大集合』というイベントが開催されたこともあります。

この催しは、全国の横地さんが横地姓発祥の地に集うもので、全国から多くの横地さんが参加し、先祖が過ごした横地地区をはじめ、横地城や供養塔などを訪れ、自らのルーツに思いをはせました。



▲平成23年の様子 横地小児童による「横地太郎ものがたり」披露

また、毎年春に行われる『横地城跡桜まつり』も、地域の人々に親しまれている恒例行事です。

この桜まつりでは、横地城内にある横地神社で祭儀が行われた後、城兵の訓練を模したと伝わる「金玉落とし」という恒例行事が開催されます。急斜面を転がる金色のボールを拾いに行くこの